



グリップヒーター HG 取り付けについて E53140GJBT1

適合車種：LEAD125 (2BJ-JF45)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

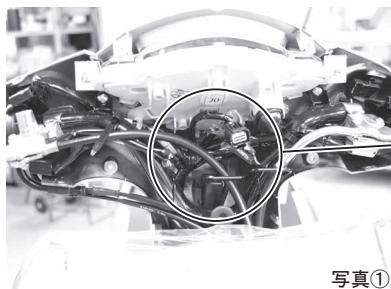
●接続する前に

車両のサービススマニュアルを参考にしてバックミラー、ハンドルバーフロントカバー、ハンドルバーリアカバーを取り外します。写真①を参考にして、オプション用ギボシの位置を確認しておきます。

※奥の方に隠れていて探しにくいのでご注意ください。(写真②)

①配線の接続について（図①）

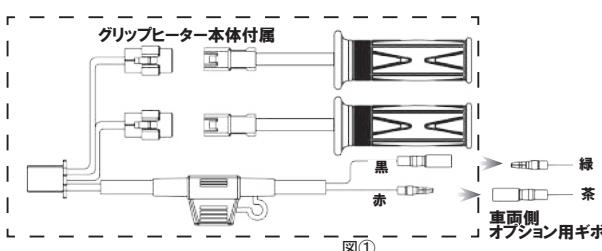
グリップヒーター側ハーネスのギボシ（赤）をオプション用ギボシ（茶）に、ハーネスのギボシ（黒）をオプション用ギボシ（緑）にそれぞれ接続します。このとき、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題が無ければ、一度、グリップとスイッチはハーネスから外します。



拡大写真



写真②

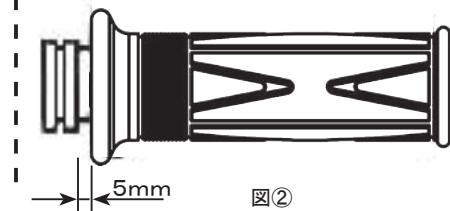


写真③

②左右グリップの取り付け（参考例）

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパートクリーナーなどできれいに取り除きます。グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。このとき、グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。また、右グリップは下図のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。

《右グリップ》



●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないでください。(特に右側)。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

③スイッチ部の取り付け

スイッチの配線は左グリップと同様にハンドルカバーの間（写真④）から配線を通すように別途ステーを購入して固定するか付属の両面テープでハンドルカバー部に貼り付けて固定します。また、ウインカーなどの操作の邪魔にならない位置のように注意して固定します。



写真④

④配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、車両のハーネスに沿わせながら、左右グリップ、スイッチの配線を通してグリップヒーターハーネスのカプラに接続します。

配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでうまくまとめて固定します。

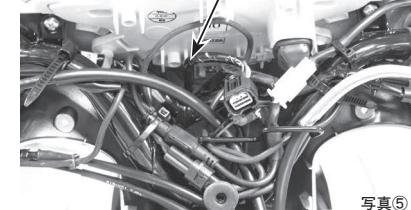
→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかるっていないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。



まとめてタイラップなどで固定

⑤取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにしてグリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。



写真⑤

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上のイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com